

はなわ 議会だより

2020
No.151

発行／福島県塙町議会
令和2年7月17日



七夕に願いをこめて
こども園保育部

6 月定例会

コロナ関連予算審議 (6月定例会) … P 2 ~ 3
町政を問う(一般質問) …………… P 4 ~ 11
委員会 & 追跡レポート …………… P 14 ~ 15



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

新型コロナウイルス関連を含む補正予算を可決 対象事業費約8千万円は国庫補助

一般会計補正予算3億527万円追加

【主な内容】

- ・ 埴町エール給付金 3000万円(全額国補助)
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止による休業や経済活動縮小に伴う減収対策。対象は町内で事業を営む商工会員や生活関連のサービス業種を営む方へ1ヶ月あたり前年比2割以上減収した場合10万円給付する。
- ・ 湯遊ランドはなわ休館指定管理委託料 1283万円(全額国補助)
- 4月18日から6月末までの休館期間で、施設維持に相当する固定費を指定管理料増額で対応する。
- ・ 高齢者外出支援タクシー料金助成事業 540万円
- 70歳以上80歳未満の運転免許証がない方と、80歳以上は運転免許証の有無に関わらず対象で1人あたりの助成額は18000円。

Q 高齢者外出支援タクシー料金助成事業は、町民から前倒し実施要望の声を聞いているが可能か。

A できる限り早く実施できるように対応を進める。

Q エール給付金関連で、その他に町民1人あたり1万円の商品券実施はするのか。

A 国の2次補正が決定され、これをベースに実施を検討している。

Q 川上東河内線の完成予定はいつか。

A 国予算の関係で工事が延長しているが令和4年完成予定。

Q こども園の室外機防音対策工事の詳細は。

A 工事現場でも使用される防音仮囲いを室外機周辺に行う。

Q 学校教育費関係の新型コロナウイルス対策消耗品の内容は。

A 消毒用エタノールや体温測定器、ソリューションウオーターを購入予定で、今後懸念される第2波以降への備蓄も兼ねている。

(全員賛成で可決)



顔認証での温度計



フェイスシールドを医療関係者へ

6月の例会のあらまし

6月定例会は、6月11日(木)から15日(月)までの5日間の会期で開催しました。

専決処分1件、条例関係7件、計画変更1件、補正予算2件、昨年度からの予算繰越報告1件、法人経営状況報告2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また6月15日付けで町長より追加議案(人事案件3件)の提出があり、こちらも原案どおり可決しました。なお一般質問は7名の議員が登壇し、町政全般の問題を質しました。

議案審議

国保税条例一部改正

個人の所得額確定により、算定基礎となる医療費給付分や後期高齢者支援金分、介護納付金分とそれぞれの所得割の率などを改正する。

Q 国保税における均等割や所得割の算定基準は。

A 過去3年分の医療費給付見込みや、県からの納付金、他市町村とのバランスを考慮しつつ前年度と変わらない状況にすべく調整した。

(全員賛成で可決)

モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- ・ 夫 45歳 (世帯主※サラリーマン)
給与収入: 300万円 (所得192万円)
- ・ 妻 42歳 (専業主婦)
- ・ 子 18歳 (高校生)

	令和2年度	令和元年度	比較
税額	287,568円	273,489円	14,079円増

議案等の審議結果一覧表

承認第9号	専決処分について (専決第9号)	議案第47号	埴町辺地総合整備計画の変更	原案可決・同意
令和2年度埴町一般会計補正(8億8,579万円増額)。主に町民1人あたり10万円の特別定額給付金を早急に給付できるようにするため、町長専決により決定した内容について議会承認を得るもの。	令和2年度埴町一般会計補正(8億8,579万円増額)。主に町民1人あたり10万円の特別定額給付金を早急に給付できるようにするため、町長専決により決定した内容について議会承認を得るもの。	議案第48号	令和2年度埴町一般会計補正予算(第2号)	
議案第40号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税等の減免に関する条例制定	議案第49号	令和2年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第41号	埴町税条例等の一部改正	報告第1号	令和元年度埴町繰越明許費繰越計算書について	
議案第42号	埴町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例改正	報告第2号	法人の経営状況について(白河地方土地開発公社)	
議案第43号	埴町後期高齢者医療に関する条例改正	報告第3号	法人の経営状況について(株埴町振興公社)	
議案第44号	埴町国民健康保険条例の一部改正	同意第2号~4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第45号	埴町国民健康保険税条例の一部改正			
議案第46号	埴町介護保険条例の一部改正			
	令和元年10月に実施された消費税増税引き上げに伴う、介護保険料軽減のための条例改正。			

用語開設

議会関連の用語について説明します。

特別多数議決(とくべつたすうぎけつ)

通常議会の議決は出席議員の過半数で決するが、議員や首長の身分喪失に関する事項や、住民の利害に重大な意味を有するものに対する議決要件のハードルを高くすることで、慎重な意思決定をしなければならない場合に法に基づき適用される。

例1) 出席議員3分の2以上の同意 → 議員の資格決定、拒否権による条例制定や改廃または予算再議
 例2) 出席議員4分の3以上の同意 → 議員の除名処分、不信任決議
 例3) 出席議員5分の4以上の同意 → 議会の解散

※ 例1から3までのケースには、それぞれ定足数(議会開会要件となる出席議員数)の定めが別にある。

議案審議

国保条例一部改正

個人の所得額確定により、算定基礎となる医療費給付分や後期高齢者支援金分、介護納付金分とそれぞれの所得割の率などを改正する。

〈質疑〉

国保税における均等割や所得割の算定基準は、

A 過去3年分の医療費給付見込みや、県からの納付金、他市町村とのバランスを考慮しつつ前年度と変わらない状況にすべく調整した。

(全員賛成で可決)

モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- ・ 夫 45 歳 (世帯主※サラリーマン)
給与収入：300 万円 (所得192万円)
- ・ 妻 42 歳 (専業主婦)
- ・ 子 18 歳 (高校生)

	令和2年度	令和元年度	比較
税額	287,568円	273,489円	14,079円増

議案等の審議結果一覧表

承認第9号	専決処分について (専決第9号)	議案第47号	埴町辺地総合整備計画の変更	原 案 可 決 ・ 同 意
令和2年度埴町一般会計補正 (8億8,579万円増額)。主に町民1人あたり10万円の特別定額給付金を早急に給付できるようにするため、町長専決により決定した内容について議会承認を得るもの。		議案第48号	令和2年度埴町一般会計補正予算 (第2号)	
議案第40号	新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等に係る国民健康保険税等の減免に関する条例制定	議案第49号	令和2年度埴町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	
新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が一定程度減少した被保険者等の税負担を軽減するため、国民健康保険税と介護保険料の減免に関する条例制定。		報告第1号	令和元年度埴町繰越明許費繰越計算書について	
議案第41号	埴町税条例等の一部改正	報告第2号	法人の経営状況について (白河地方土地開発公社)	
地方税法の改正に伴う町税条例の一部改正。主なものは新型コロナウイルス感染症にかかる徴収猶予や寄附金税額控除特例事項、住宅借入金等特別税額控除に関する改正について。		報告第3号	法人の経営状況について (株埴町振興公社)	
議案第42号	埴町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例改正	同意第2号~4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	
地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定を受けた企業等が、一定要件を満たす固定資産 (土地や家屋など) を取得した場合の課税免除や不均一課税期間の延長に係る条例改正。			前任者の退任や任期満了による固定資産評価審査委員会委員3名の選任。任期は令和2年7月19日から3年間。	
議案第43号	埴町後期高齢者医療に関する条例改正			
福島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例において、新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に係る傷病手当金が規定された事に伴う条例改正。				
議案第44号	埴町国民健康保険条例の一部改正			
国民健康保険被保険者が新型コロナウイルス感染症に感染した (または発熱等の症状があり感染が疑われる者) 場合、傷病手当金を支給する項目を新設する条例改正。				
議案第45号	埴町国民健康保険税条例の一部改正			
令和2年度の国民健康保険税を賦課するため、必要額から税を算出するにあたり、按分率の改正が必要となったことによる条例の一部改正。				
議案第46号	埴町介護保険条例の一部改正			
令和元年10月に実施された消費税増税引き上げに伴う、介護保険料軽減のための条例改正。				

用語開設

議会関連の用語について説明します。

特別多数議決 (とくべつたすうぎけつ)

通常議会の議決は出席議員の過半数で決するが、議員や首長の身分喪失に関する事項や、住民の利害に重大な意味を有するものに対する議決要件のハードルを高くすることで、慎重な意思決定をしなければならない場合に法に基づき適用される。

例1) 出席議員3分の2以上の同意 → 議員の資格決定、拒否権による条例制定や改廃または予算再議

例2) 出席議員4分の3以上の同意 → 議員の除名処分、不信任決議

例3) 出席議員5分の4以上の同意 → 議会の解散

※ 例1から3までのケースには、それぞれ定足数 (議会開会要件となる出席議員数) の定めが別にある。

一般質問 町政を問う



質問登壇議員一覧		ページ
すずき 鈴木 議員 しげる 茂	1 新型コロナ関連 2 町長任期の町政検証 3 埴工高存続	P 5
ななみや 七宮 議員 ひろき 広樹	1 新型コロナ関連 2 こども園環境 3 県道の歩道拡張	P 6
きくち 菊地 議員 てつや 哲也	1 新型コロナ関連 2 GIGA スクール構想 3 こども園運営	P 7
かなざわ 金澤 議員 たろう 太郎	1 町長の行政実績 2 今後の行政展望 3 スクールバス利用	P 8
よしだ 吉田 議員 かつのり 克則	1 こども園諸問題 2 旧常小廃校利用 3 公民館バリアフリー	P 9
しもじゅう 下重 議員 よしと 義人	1 町長の施政方針 2 衛生組合周辺道路環境 3 町の水害対策	P 10
すずき 鈴木 議員 もとひさ 元久	1 地籍調査進捗状況 2 新型コロナ関連 3 町営住宅問題 4 県道凍結防止	P 11



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

質問

コロナ対策は対応が遅く不十分だと思いが

埴工業高校存続について他町村と連携して対応する

答弁

全町民に一万円の商品券を配りたい

質問 事業者に町独自の支援金対応がなぜ遅れたのか。

答弁 対象者の実態や下調べに時間がかかった。

質問 一律10万円にする考えはないか。

答弁 手続きを簡素化して行う。

質問 畜産や花など農家も被害が出ているので、一律に支援しないのか。

答弁 代わりに全町民一万円の商品券を配りたい。

質問 多くの市町村長がボーナスを3〜5割カットしているが、埴町は実施しないのか。

答弁 特別職全体の問題なのでやらない。

質問 子供たちの教育遅れはどうするのか。

答弁 100時間の遅れで、夏休み短縮、授業時間の延長、行事の削減で取り戻したい。

質問 中学3年生の受験対策はどうするのか。

答弁 補習や土曜授業で対応したい。

質問 オンライン授業のためにも、一人一台タブレットが必要と思うが。

答弁 早急に揃えたい。

質問 町民をコロナ感染から守るため、関東からの客が多い道の駅をなぜ休業にしなかったのか。

答弁 出荷者や利用者からの要望で休業しなかった。



鈴木 議員

救済は素早くそして手厚くが基本だ



関東方面からの客も多い道の駅はなわ

4年間の町政検証は

老人ホーム建設は在宅介護の充実により見合わせた

質問 公約の老人ホーム建設はどうするのか。

答弁 在宅介護の充実により見合わせた。高齢者の活動する場所を提供したい。

質問 企業誘致をせず、既存の企業を後押しすると聞いたが何をしたのか。

答弁 何か手伝えることがあるらと話し合いをしている。

質問 林業アカデミーは他地区に決まったが、その後は。

答弁 実習地の提供について県と話し合いをしている。

質問 今年の奨学金利用者として入学者は。

質問 制度の効果はあったのか。

質問 廃校を認めるのか。それとも何か対策を取るのか。

答弁 コロナによる募集延長で2名の申し込みがあった。入学者は36名。

答弁 まだ表れていない。今後に期待する。

答弁 同じような他の町村と連携して存続を訴えて行きたい。

一般質問

質問

新型コロナウイルスに対する対応は

答弁

町独自のエール給付金交付を進めたい



ななみや ひろき
七宮 広樹 議員

悪い時が過ぎれば、
よい時は必ず来る。
コロナに負けるな!!

質問 商工業者向け町独自のエール給付金だが、農業者等も支援するのか。また申請手続き簡略化の考えは。

答弁 一律に考えるべきだが難しい。手続きは最大限に考慮する。

質問 町内全ての業種に対応した、埴町エール給付金とする考えはないのか。また独自の応援給付金の考えは。

答弁 国の二次補正予算が決定したので考えてみたい。

質問 納税の期日が迫り、町に関わる納税の救済措置は。

答弁 すでに徴収猶予の特例制度が開始している。猶予期間中は延滞金も発生しない。

質問 緊急事態宣言が解除され学校も再開したが、生徒の心のケアと学習遅れ対応は。

答弁 相談体制を確立し、心のケアに努めている。夏休みや冬休み期間の短縮や、行事の削減で年度内の履修を図りたい。

質問 新型コロナウイルス感染第2波や第3波の休校対策として、オンライン授業実証実験の考えは。

答弁 GIGAスクール構想の取り組みに参加するなど、ICTを活用した授業を計画している。

ICTとは
IT技術を使ってコミュニケーションをとっていく教員方針や取り組みのこと。

一般質問

はなわこども園周辺地域の取り巻く環境は

駐車スペースの確保と共に周辺整備を進めたい

質問 利用者の交通量増加で周辺道の危険性が高まり対策が取られたが、さらなる対策は。

答弁 改めて呼びかけなどを実施し、最悪の場合ハード対策で対応する。

質問 駐車場は60台分ですが、現状と今後の確保計画は。

答弁 こども園近くに確保を検討している。

県道埴大津港線上町地内の通学路歩道拡幅は

今年度用地交渉に入る

質問 以前、危険性を認識していると答弁後も改良されず、通学生や地元民は恐怖を感じているが対策は。

答弁 現在も県へ有効な対策をお願いし続けている。交通量緩和に北野松岡線の改良を考えている。

質問 上町地内の歩道と板庭橋手前の急カーブの危険度レベルは。

答弁 歩道が狭く歩車道の区別がなく大変危険であり、県では測量して改良方法を検討している。



上町地内での通学風景

質問

コロナ感染者への偏見や差別、いじめへの対応は

答弁
偏見や差別は断じて許されない

質問 新型コロナによる学校行事への影響は。

答弁 小学生全員参加の演劇鑑賞は中止し、6年生の宿泊学習は日帰り実施。また5年生の異文化体験授業は中止とし、運動会は規模縮小で9月以降に実施予定。なお中体連や音楽祭は中止である。

質問 今後埴町からコロナ感染者が出た場合、感染者本人やその家族等への偏見や差別、いじめへの対応は。

答弁 偏見や差別は断じて許されない。文部科学省より出されたマニュアルを基に、適切な知識を教育していく。

質問 新型コロナによる経済的困窮家庭への新たな就学支援は。

答弁 町の奨学金返済猶予と、準要保護家庭への就学支援を適用していく。

質問 災害時に、避難所でのコロナなどの感染症対策は。

答弁 マスクや消毒液などを備蓄。可能な場合は分散避難も考えている。必ず体調の確認と、感染を疑われる場合は、外階段がある埴農村勤労福祉会館2階や公民館2階に隔離する。



議員 菊地 哲也

町民の声を聞きながら前へ進みたい

ギガ
GIGAスクール構想について

生徒1人に1台の端末電子機器を整備したい

質問 文部科学省のGIGAスクール構想への埴町の対応は。

答弁 令和3年度まで、生徒1人1台端末電子機器を整備し、臨時休業時でも全ての子供達に学びの場を提供する。

GIGAスクール構想・・・義務教育を受ける児童生徒に1人1台学習用PCやネットワーク環境の整備を行う国の構想

質問 はなわこども園の園庭に遊具が置いていないが。

答弁 各先生や保護者からの要望があれば、設置を検討する。

質問 こども園の円滑な運営に用務員が必要では。

答弁 今年7月から用務員1名を配置する予定。

はなわこども園の用務員が必要では今年7月から配置する予定



園庭に設置されているすべり台

一般質問

1期4年間の行政実績は

「住み慣れた地域と生活を守るために」の行政運営



かなざわ たろう 議員
金澤 太郎

町の存続を
図ることが大事

質問 町長の1期4年間の行政実績は。

答弁 次世代を担う子供たちが育成に重点を置いた行政運営に努め、こども園建設、給食費の無料化、ウツドスタート事業、子供医療費助成制度の充実、子育て世代応援ポイントカードの導入、育児用品購入補助事業等を実施。また、若者定住のための促進住宅建設や、分譲地の開発販売を行った。

産業振興では、新規事業者の進出を主眼としていた旧来の方法から、現有企業のフォローアップへと方向転

換を図り、ふくしま森林再生事業への取り組み、雇用継続奨励金事業等を実施した。主な進出企業は、令和2年より農業生産法人フラワーキング、焼酎工場跡地へ酒造会社の進出予定がある。観光振興では、サイクルツーリズム、農業体験のモニターツアーを実施。

令和元年の台風19号被害から、小規模災害復旧事業を導入し、軽微な災害復旧作業の迅速化を構築した。



子どもたちが主役のこども園

一般質問

今後4年間の行政展望は

住み慣れた地域と生活を守る

質問 現職町長として考えている今後4年間の行政展望を伺う。

答弁 住み慣れた地域と生活を守ることに主眼を置いた行政運営を行う。

各事業の連帯強化と、官民連携を図りたい。

地域の方が地域を元気にするために、地域

振興交付金の継続や、地域の高齢者と子供が交流できる高齢者支援の基幹施設を作り、子供たちにふるさとを守る心を育んでもらいたい。

身の丈に合った財政運営を基本とし、必要に応じて基金の活用も図っていきたい。

こども園幼稚部の スクールバス運用は

幼児用バスの導入と 添乗員確保の検討を進める

質問 こども園幼稚部は三年制だが、年少組は、保護者による送迎であり、幼稚園全学年のスクールバス利用はどのように考えているのか。

答弁 年少組を乗車させるためには、幼児専用バスと添乗員が必要だが、現在幼児専用バスがないため、年長と年中組に限定している。

今後、幼児用バスと添乗員確保を検討する。

他町村では、年少組の乗車が開始できる場合でも、幼稚園に慣れる期間は保護者の送迎で、5月ないし2学期からの乗車としているケースもある。

質問

はなわこども園の待機児童は

答弁

解消へ保育士の確保に努める

質問 はなわこども園への移行はスムーズにできたのか。

答弁 非常にいろいろな面があつたがスムーズに移行できたと感じている。

質問 入園児の待機児童は。

答弁 0歳児1名、1歳児2名の合計3名。待機児童解消へ、保育士の確保に努めたい。

質問 認定こども園に移行していく話があつたが。

答弁 保育士の確保が十分できた上で、認定こども園への移行を検討したい。

質問 施設全体の安全性は。

答弁 子ども達の安全確保に努めている。

質問 子育て支援施設の利活用は。

答弁 保護者同士や地域の方々との交流を図る子育ての場を目指している。育児教室、離乳食教室等の開催準備を進めている。



よしだ かつのり
吉田 克則 議員

町有施設は町民全ての方が利用できなければ！



今年開園したはなわこども園

バリアフリー化の改善は 構造上不可能

質問 町公民館のバリアフリー化の改善策は。

答弁 現在の埜町公民館は、構造上エレベーター等の設置は不可能であると考えている。

廃校利用の説明は

文書で周知した

質問 旧常豊小学校と幼稚園の廃校利用の考えは。

答弁 町学校施設等利活用検討委員会から、当面が望ましいとの報告から、地域や町にとって最も有益な利活用の検討を進めてきた。今年から一部を農業生産物流法人に貸し出すこととなった。

質問 地区民への説明はどの様に行なったのか。

答弁 文書で周知をした。
質問 町が出資した進出企業名等は。

答弁 企業名はフラワーカーキングで、令和2年3月に資本金3200万円です。

設立した。事業目標は、「東北の花」の集積地として施設を利用し、箱詰め後に羽田から世界中に輸出する。企業としての拡大と雇用は期待できる。

質問 町有財産を利用するにあつたつての議決は。

答弁 今回の貸し付けは当たらない。
質問 旧常豊幼稚園を地区民から集会所として使いたい要望が出されていたが。

答弁 建物の用途変更や耐震補強への対応から集会所としての利用は予定していない。

一般質問

施政方針の福祉増進とは

総合計画に掲げる 将来像の実現を目指す



しもじゅう 下重 よしと 議員

汝の敵を愛せよ

質問 施政方針の「地方自治の基本を堅持し、町民の福祉増進に努める」とは、どのように努めるのか。

答弁 地方自治の使命である、住民福祉の増進と行政運営の効率化を踏まえた行財政改革を行い、総合計画に掲げる将来像「みんなが主役しあわせ実感のまちはなわ」の実現を目指す。

質問 ふくしま森林再生事業の継続と、町長自ら県に向いて、要望は行っているのか。

答弁 県の農林水産部へ、郡内4町村とともに継続要望など行っている。今後も最大限求める考えだ。

質問 埴町林業振興協議会は、林業アカデミー誘致要望活動後にどのような活動を行っているのか。

答弁 林業アカデミーは郡山市内の県有施設に決定したので、今後は実習場所として元笹原財産区町有林を活用できるよう、誘致活動も今後は必要になると思う。その際、協議会委員とともに陳情活動を行う考えだ。

質問 信頼される行政サービスを実施するため、各種システムの有効活用とあるが、交付率の低いマイナンバーカード作成に活用できないか。

答弁 マイナンバーカード発行に国の施策もあり、町としては申請できない方を支援するためのオンライン申請補助端末を導入し、7月1日より支援実施を予定している。



埴町林業振興協議会としての陳情活動

質問 農業振興に関して、ダリアやキノコ、竹パウダーだけでなく、観賞用こんにゃくの鉢植えなどを考えてはどうか。

答弁 こんにゃくの花は珍しく、埴町のPRに繋がれば何らかの形で考えてみたい。

質問 「家庭と地域に安全な町」とある中で、雨水排水対策を行っているのか。

答弁 守崎堰水門の閉鎖や、東白衛生組合上部の水門での放流、代官町付近での排水ポンプによる川上川への放出を考えている。

町では水害に対しての 事前対応は

排水ポンプを設置

質問 町では、昨年の水害に対して事前に対応を考えているのか。

答弁 大字埴地区内の内水氾濫防止策の1つとして、上渋井方面から流入する用水路や、各沢の経路を調査、内水処理は事前の予報降雨量により排水ポンプを設置し処理を行う。

東白衛生組合への道路の対策は 道路計画を検討

質問 今年4月から5月にかけての東白衛生組合への道路利用状況と、アクセス道路の今後の対策は。

答弁 今年4月から5月にかけての連休中は、各家庭からのゴミ搬入が多くあり、昨年比24%増だった。今後の対策は、町道北野松岡線改良工事を進め、その後に松岡棚倉線の延伸を含め道路計画を検討していきたい。

質問

地籍調査の進捗状況は

答弁

町全体で57%を実施した

質問 地籍調査を現在実施している地区と今後の予定は。

答弁 現在川上地区で実施中。今後は湯岐や片貝地区で実施予定。

質問 調査未了地区と調査終了までの予定年数は。

答弁 調査未了は笹原山間地区で、調査終了までの予想がつかない。

質問 今後スピード感を持って調査すべきだが町長の考えは。

答弁 できるだけ早く実施する事を念頭に、今後20年程度と想定している。

質問 国では10か年計画で調査進捗率を引き上げるとしているが。

答弁 町では今後10年で15%程度引き上げる事を目標としている。

質問 地籍調査の予算確保のため、県への陳情は町長自ら行ったのか。

答弁 2年ほど前に県の担当職員と国交省へ行った。

台宿北原・南原町営住宅の老朽化対策は

修繕する方向で進めていく

質問 今後の修繕とスケジューリングは。

答弁 建て替えはしない。修繕はする方向で進めていく。

質問 南原町営住宅の一部撤去と周辺道路整備やその際の入居者への対応は。

答弁 耐震状態を調査した後、入居者等に希望を聴取し移転後に早急に撤去へ着手したい。

新型コロナウイルス対策は

町独自の給付を考えている

質問 町独自に、店舗維持助成金や休業者に対する給付金の創設は。

答弁 20%減収店舗へ10万円の給付金と、町民1人あたり1万円の商品券を現在検討している。
質問 福島県コロナ拡大防止協力金支援金は。

答弁 申請書はまち振興課で配布している。

質問 町独自に特別給付金条例を制定し、町民のために基金として積み立てる考えはあるか。

答弁 特別職にある方に相談し町全体として考える。現在三役の期末手当減額は考えていない。

県道塙大津港線の冬期間路面凍結防止は

福島県へ要望する

質問 日陰解消のため、支障木伐採等の考えはあるか。

答弁 県道は福島県管理で、平成30年以降手つかず状態。森林環境譲与税を活用し要望したい。

質問 現状把握のため、職員や町長自らパトロールを実施する予定は。

答弁 週に2回職員がパトロールしている。自らも車で走行中気づいた場所は、職員に話をし解決していきたい。



県道塙大津港線大蔵地内

議員 元久 鈴木 元久 議員

何事も
スピードを大切に!

一般質問

ひとこせインタビュー

令和2年6月定例会の傍聴者数はのべ20人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



ふじた まゆみ
藤田 真由美さん(川上)

たくさんの方が
傍聴できる取り組みを

— 傍聴したきつかけと感想は —
今年度の議会だよりモニターを受嘱したため、まずは実際に傍聴しようと思っただけです。
傍聴者された皆さんは熱心に質疑応答に耳を傾けていました。議場は執行部と議員が対峙する構図で、堅苦しい印象を受けました。国連の議場のように、丸くなって全員の顔を見ながら意見を出し合うのもいいのではないのでしょうか。

— 町や議会への意見、要望はありますか —
議会で議論される内容が事前に分かれば興味のある所だけでも傍聴ができ、議会に足を運ぶ方も増えると思うので、当日いただいた一般質問通告一覧を、もう少し早くホームページへ掲載した方がよいのではないのでしょうか。
なお今回傍聴してみて、会議中での傍聴席入室が可能ですが、若干ドアの開閉音が気になりました。

議会活動出欠状況

令和2年4月1日 ~ 6月30日

年月日	会議名称	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥興藏	吉田克則	鈴木茂	藤田一男	鈴木孝則	割貝寿一
2.4.3	4月臨時会（改選後の初議会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.4.9	広報常任委員会（議会だより編集）	—	傷病	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.4.16	広報常任委員会（議会だより編集）	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.4.17	全員協議会（新型コロナ対策）	○	○	○	○	○	○	○	遅参	○	○	○	○	○
2.4.17	総務常任委員会（所管事務調査内容協議）	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	公欠
2.4.17	経済常任委員会（所管事務調査内容協議）	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	—
2.4.23	新人議員研修	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2.5.13	経済常任委員会（所管事務調査）	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	○
2.5.13	総務常任委員会（所管事務調査）	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○
2.6.3	議会運営委員会（6月定例会運営）	—	—	—	—	○	○	—	○	○	○	—	○	○
2.6.11	6月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.6.11	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	—	○	—	○	—	○	○	—	○	—	—	○
2.6.11	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	○
2.6.11	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	—	○	○	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—
2.6.12	議会運営委員会（定例会運営協議）	—	—	—	—	○	○	—	忌引	○	○	—	○	○
2.6.12	6月定例会（2日目：一般質問5名）	○	○	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○
2.6.15	議会運営委員会（定例会追加議案）	—	—	—	—	○	○	—	忌引	○	○	—	○	○
2.6.15	全員協議会（定例会追加議案）	○	○	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○
2.6.15	6月定例会（3日目：一般質問2名、議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○
2.6.15	全員協議会（今後の議会活動について）	○	○	○	○	○	○	○	忌引	○	○	○	○	○
2.6.15	議会運営委員会（6月定例会検証）	—	—	—	—	○	○	—	忌引	○	○	—	○	○
2.6.30	広報常任委員会（議会だより編集）	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

○出席 - 該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

～新議会だよりモニターに8名の方を委嘱しました～

今後1年間議会広報や広聴関係でお世話になります

青砥 賢一さん	桜木町	大友 康子さん	台 宿	小野亜希子さん	雨 谷	藤田 雅彦さん	山 形
生方 和廣さん	八 幡	大縄 裕美さん	栄 町	金澤 秀紀さん	植 田	藤田真由美さん	川 上

※モニター委嘱式については感染症予防の観点から中止しました

議会だより モニターさんの声

前回4月24日発行の議会だより150号に対する議会だよりモニターの声を掲載します。

1. 表紙及び裏表紙

- ・表紙は初議会ということで、議員のやる気が満ちた表情が良かった。
- ・広報はなわでも使用している表紙の字体を取り入れてはどうか。

2. 新しい議会構成ページ

- ・カラー対応は議員の顔がわかりやすく見栄えするので今後も継続を。
- ・議長だけでなく全議員のコメントも聞きたかった。

3. 3月定例会関連ページ

- ・町民にとって大切な内容だが、コンパクトにまとめすぎて理解しがたかった。

4. 一般質問ページ

- ・台風被災への質問が多く、町の状況や防災対応についての方向性が確認できた。一日も早い復興を望む議員の熱意が感じられた。

5. 特集 百条委員会ページ

- ・調査の流れが確認でき、問題点が明確化され今後の町政に活かしてほしい。
- ・丁寧に要約されていて分かりやすかった。
- ・内情を町民が知ることができたのは議会の力だと感じた。

6. その他ご意見など

- ・埴工業高校存続問題は継続して追跡レポートなどで取り上げてほしい。
- ・議会だよりを見たいと思う取り組みが今後の課題では。

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

もっと身近に議会だよりを



おの あきこ
小野亜希子さん
(雨谷)

今年度議会だよりのモニターを務めさせていただき、事となりまして。おかげでじっくりと議会だよりに目を通すきっかけを頂きました。私は埴町が大好きです。若いころは町に対して無いものばかりを求めていましたが、今はあるものに目を向けてみると、埴町の良さ

をたくさん感じます。どこに目を向けるかで全く違う景色が見えてくるものだと思います。議会だよりを読むと、私たち町民一人一人が埴町の素敵な未来と一緒に創造していけるような議会だよりにしたいですね。追跡レポートは一般質問のその後が良く分かるとてもいい企画です。私自身も今まで以上に議会だよりをもっと身近に。そして埴町のこれからにより一層関心をもちながらモニターとしてお役に立てればと思います。

町民に寄り添った議会へ



あおとけんいち
青砥賢一さん
(桜木町)

日頃から議会や行政へ全くと言っていいほど無関心でしたが、今回のモニターの話をしていただき、議会だよりが町民へ議員の取り組みや行政の施策をお伝えする大変よい冊子である事に気づきました。ただ一般質問

等で同じ問題が繰り返されて、もっと各行政区の細部ではさまざまな事が起きているはずで、もっと町民との意見交換をしながら活動して欲しいと感じます。新人議員も加わった新しい議会の体制で、町の活性化に取り組みつつ、その活動方針や指針を議会だよりを通じてお知らせして欲しいです。

閉会中所管事務調査レポート

総務常任委員会報告



遊休施設の現状と利用計画



- ・日時 令和2年5月13日（水）
- ・場所 旧常豊小学校、旧埴幼稚園
- ・出席委員 七宮広樹委員長ほか委員全員（計：7名）



・調査まとめ



(1) 旧常豊小学校について



小学校統合から2年が経過し、今年度は維持費約225万円が予算計上され、施設内外共に適切な維持管理が行われているが、新型コロナウイルス感染防止のため、町民に再利用品の払下げができず多目的ホールに集約され、別の部屋には役場の書類が一時的に保管されていた。なお今年から施設内のランチルーム周辺に(株)フラワーキングを企業誘致し、花木の流通拠点として活用していた。今後は支出削減と更なる展開、地域住民からの利用要望にも応えていく事を望む。



(2) 旧埴幼稚園について



すぎのこ園を残し、使われなくなった施設を学童保育の場として利用すべく、改修計画では部屋を二つに分ける間仕切りと、畳を敷

く工事等が行われる。現状施設全体の用途変更手続きが進められているため、当初のスタート時期から遅れるとの事。なお園庭遊具の一部を、はなわこども園へ移設する計画についても説明を受けた。ここは耐震施工施設で、近隣にはリニューアルしたB&G海洋センターもあり、学童保育を利用する児童や保護者にも、利便性と環境に恵まれた場所である事を確認した。



集約された再利用品

経済常任委員会報告



東日本台風による災害復旧事業の現状



- ・日時 令和2年5月13日（水）
- ・場所 上渋井守崎堰、釜藤堰、粕河内地区、川上薄久保地内、湯岐地内県道高萩塙線
- ・出席委員 下重義人委員長ほか委員全員（計：6名）



・調査まとめ



今年4月末現在の災害復旧事業実施見込みは229か所、5億1,200万円であるが、そのうち約96%が契約済となっていた。進捗率は全体で10%~20%で本格復旧は夏以降になる見込み。復旧優先順位は生活に欠かせない道路等のインフラを最優先とし、次に農地や農業施設、最後に林道としたため復旧進捗率が低くなっている。



守崎堰、釜藤堰及び粕河内地区は、仮設工事により通水され、それぞれの受益地で作付が可能になった。町内の被災した農地は90%で作付け可能だが、残りは今年度の作付けができない。



川上薄久保地内は河川の増水により、道路が崩落し応急仮設工事が実施され通行可能と

なったが、調査時点では本格復旧工事が行われており今年7月に完成予定。湯岐地内の県道高萩塙線は生活道路であり、湯岐温泉へのアクセス道路であるため、早期復旧すべく工事に着手し4月25日に開通。一刻も早い完全復旧を願う。



川上薄久保地内の道路復旧箇所

追跡 レポート

あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

高齢者や免許返納者の交通手段は 平成28年3月定例会

買い物や通院の手段として、デマンドタクシーを導入すべきだと思うが、どのように考えるか。

答弁

実証実験結果から検討したい

デマンドタクシーは、平成26～27年に実証実験を行い、アンケートもとったが、埴町公共交通活性化協議会の中で、バス増便やタクシー助成金など様々な方法を検討したい。

その後

高齢者おでかけタクシーを実施

令和元年度全町内にタクシー利用助成を行い、結果も好評だった事から、令和2年7月より高齢者おでかけタクシー制度を創設した。



利用券申請のようす

旧常豊小学校跡地利用の進捗状況は 平成31年3月定例会

町民や地区民から意見を聞いて、施設利用を図っていくと説明したが、施設利用をどのように考えて進めてきているのか。

答弁

検討委員会で協議中

埴町学校施設利活用検討委員会からの検討結果報告より、旧常豊小学校校舎については地域や町にとって最も有益な利活用の検討を進めていく。

その後

企業誘致で活用された

令和2年5月現在、旧常豊小学校校舎については、農業生産法人フラワーキングが施設の一部を使用し活発な営業を行っている。また旧常豊幼稚園は、板庭地区にあった町の放射性物質測定所を移転し使用する事となった。



遠藤社長と宮田町長

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：さわやか（レクダンス）スポーツクラブ
 活動場所：埴町公民館、体育館、剣道場など
 会長：原 友子（43-1324）
 会員：20名

レクダンスを通じて充実した毎日を

さわやかレクダンスは、創立して25年近くになります。私たちは簡単な説明で、誰でもすぐに踊りを楽しめてコミュニケーションが取れるレクダンスを通じて、元気で心豊かに健康長寿でいられるよう活動しています。会員の皆さんは毎週レクダンスに参加できる事を楽しみにし、会える事の喜びや笑顔が絶えません。

曲に合わせてリズムをとり、ステップを踏むことにより認知症予防につながります。またストレッチや筋トレも行い、体力増進にもなります。現在新型コロナの流行で、マスク、アルコール消毒、3密を避けるなどの工夫を

しながら踊っています。

いつでもどこでもできるレクダンス。皆さん体験しませんか？毎週火曜午前10時から開催しているので、ぜひお待ちしております。



レクダンス会員の皆さん

編集後記

新人議員として、初めて議会だよりの発行に携わりました。何もかもが初めての事ですが、先輩議員のご指導を頂きながら努めていきたいと思えます。町民の皆さんに議会の内容をわかりやすく伝え、議会に少しでも関心を持ってもらうため、より良い議会だよりになるよう、広報常任委員全員で頑張っていきたいと思えます。そろそろ夏が近づき台風シーズンとなります。令和2年は災害のないことを願ってやみません。

菊地 哲也



広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
鈴木	吉村	七宮	吉田	菊地	青砥
元久	守広	広樹	広明	哲也	與藏

あなたも議会を傍聴してみませんか

次回9月定例会は9月10日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場

(傍聴時は感染症予防の観点からマスク着用をお願いします)

